



ラポール 7

2011
JULY
Vol.237

● 故石川茂男会長の葬儀告別式が執り行われ
ました。
宮城県



※『rapport』…もともとは報告・つながり・関係などを意味するが、対人関係における円滑な精神的交流を指すようになった。



宮城県倫理法人会 活動理念

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

会長あいさつ

「ターニングポイント」



宮城県倫理法人会 会長 田中 裕人
(株式会社 菓匠三全 代表取締役社長)

1000年に一度といわれた大地震。蓄積された巨大なエネルギーが大地の咆哮となり、東北の地を襲いました。人間が築き上げたものをいとも簡単に破壊し、たくさんのものが失われました。人々は傷つき項垂れ、言葉を失いました。

あの大震災から4か月。その復旧たるや直近の阪神大震災に比しても驚くようなスピードで進んで参りました。電気・水道・ガスに始まり、鉄道、飛行機、道路の修復。人間が蓄積してきた知識・経験を一気に解き放つような、そんな熱を含んだかの早さで、日いちにちとドラスティックに変化していきました。

そんな中、我々の「考え」も震災前と後では大いに揺さぶられ、ふるいにかけて、復旧の過程で磨き上げられてきました。人生の大きなターニングポイントとなりました。本当に大切な物が見えたことでしょう。

道路が舗装され、施設の壁が補修され落ち着き始めた7月。

仙台では16-17日に「東北六魂祭(とうほくろっこんさい)」が行われ、お客様が仙台に殺到しました。また22日には仙台駅東口に「アンパンマンミュージアム」がそして仙台ホテル跡地には、複合商業施設「エデン」がオープンし、活気が出て参りました。

我々は今この波にのって復興のスピードを加速させていかなければなりません。今、なすべき事に全力を注力することが大切なのです。

倫友の中には、沿岸で被災しながらも立ちあがり、この8月、仙台に新たなお店をオープンさせ、頑張っておられる方がいます。まずは、粘り強く先に進むことが大切なのです。

7月17日。2011FIFA女子ワールドカップにおいて「なでしこジャパン」が優勝に輝き、日本の梅雨空を一掃し明るいニュースをもたらしてくれました。強豪アメリカを相手に2度リードされながらも追いつき、粘りに粘って得点。最終的にPK戦で勝利をもぎ取る劇的展開となりました。格上の選手にも決してひるまず、諦めずボールを追い続けるその雄姿は、我々日本人に気高き心と勇気を与えてくれました。頑張っていけば必ず成果が表れる。そんな自信を与えてくれたものと思います。なでしこ達は決勝戦前に東日本大震災のビデオを見て、何のために戦うか、目的を確かめて試合に臨んだといひます一女神達に負けぬよう、我々も戦っていきましょう。

8月には「仙台七夕まつり」そしてお盆を迎えます。

亡くなられた石川会長をはじめ、被災された皆様のお心を思うと心が痛みます。

今年の8月は万感の想いで迎えることになりそうです。

自身の命を顧みず、職務を全うし、犠牲となった尊き命に、そして焼けつくようなこの暑さの中、真っ黒になって復旧にご尽力頂いている、気高い方々に感謝の祈りを捧げ、石川会長の願いでもあった普及拡大に全力で尽くす事が未来に繋がると信じ、邁進して参ります。

故石川茂男会長の葬儀告別式が執り行われました。

改めてご冥福をお祈りいたします

石川茂男会長はさる3月11日の東日本大震災に伴う大津波により、尊い命を奥様とお孫様共々一緒に亡くされました。私たち会員に取りまして石川茂男県会長を失うことは、痛恨の極みであります。

震災から3ヶ月半が経ちました6月26日に、葬儀並びに告別式が石川家・(株)宮城プラントサービスの合同葬として執り行われましたので、ご報告申し上げます。

会場は石巻市内の梅溪寺(曹洞宗)にて午前10時より、本田ご住職様のお導きで執り行なわれました。

導師読経の後、4名の方が最後のお別れの言葉を伝えました。宮城県倫理法人会として会を代表して、田中裕人県会長代行が弔辞を読み上げました。

法人会はもとより、石巻の商工会議所など多くの皆様に、優しさの中にも厳しさを忘れず指導され、多くの皆様から大変に愛された人柄が偲ばれました。本当に惜しい人を亡くしてしまった事を改めて思い知らされた、4名の皆様のお別れの言葉でした。

全員のご焼香の後、ご長男であり、(株)宮城プラントサービスの社長である石川佳洋様の、会葬御礼があり散会となりました。

ここに改めて石川茂男会長のご冥福をお祈りし、ご報告と致します。

広報副委員長 及川明



気仙沼市倫理法人会

◆日時 6月8日(水)、15日(水) 6時00分～7時00分 ◆場所 気仙沼市 有山会館

気仙沼市倫理法人会モーニングセミナーが再開いたしました。

まずは、この度の東日本大震災で犠牲になられた皆様に心よりお悔み申し上げます。

そして、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

6月8日(水)、震災から3ヶ月が経過し、ようやくモーニングセミナーを開催する事が出来ました。

当会でも、会員ご自身が、そして、ご家族が犠牲になられた仲間が沢山おり、全員で黙とうを捧げ、ご冥福をお祈り致しました。ちょうど3ヶ月前の3月9日(水)は、気仙沼市倫理法人会の第700回記念のMSでしたが、その2日後に、当地域は未曾有の災害に見舞われ、皆、様々な形で甚大な被害を被りました。亡くなられた方と生き残った方の差はほとんどありません。生かされた人は、生かされた意味を感じ、精一杯生きることが大切だと思います。



会長、専任幹事、相談役の再開にあたって。



久しぶりの再開にて様々な話が。



少しずつ集まるメンバー。



いよいよ再開です。



阿部会長挨拶

次いで、翌週6月15日(水)は、俳優の滝田栄さんが、MSの講師としてお話していただきました。

滝田さんは俳優として「人の生き様」を演じてこられ、NHK大河ドラマで主役を演じた徳川家康や、舞台上で主役を演じたレ・ミゼラブルのジャン・ヴァルジャンなどはその代表です。

現在は俳優業の他、執筆活動や講演活動を行う一方、仏像制作も行っており、今回は、犠牲者になった方々の魂の鎮魂に、お地蔵様を制作してくれているとの事でした。お地蔵様が少しでも被災者の方々の心の安らぎになることを願います。



震災で居た堪れない心境を語ってくれました。



滝田さん、熱い講話に引込まれました。



希望も頂きました。

(気仙沼市倫理法人会 広報 澤井 仁)

大崎倫理法人会

●あいさつ運動終了

古川南中学校の校門前にて、5/24～7/20までの2ヶ月間毎週火曜日モーニングセミナー後に行われた、あいさつ運動が終了しました。多数の御参加ありがとうございました。

*あいさつ運動6年目を振り返って

はじめた時は、一ヶ月続けられるかどうか不安であったが、会員の皆さんの協力で続けていくうちに、確実に何かが変わっていった。生徒達も、自分達も。4年目に、古川中学校の野球部の生徒が自主的に参加してくれた時はうれしかった。「継続は力。」継続は奇跡を生むものだ。ありがとうございました。

社会貢献委員長 中島 治



◆日時 7月11日(月) 18時30分～ ◆場所 芙蓉閣ビクトリア

●第3弾! 「経営者のつどい」開催される!!

平成23年7月11日(月) 18時30より、芙蓉閣ビクトリアに於いて開催されました。講師は栃木県宇都宮中央倫理法人会専任幹事で、有限会社ファーストサポート代表取締役 高橋欣夫氏をお迎えし『欣び(よろこび)と感謝の思い』というテーマで御講話頂きました。

「家族を慈しむ、すべての社員を我が子のごとく慈しむ、この『慈しむ』という言葉が私の心の中にいつもあることを感じています。この言葉が私を支えてくれるということを感じています。」そのような体験をお話頂きました。



仙台泉倫理法人会

仙台泉倫理法人会のモーニングセミナー会場が変更になりました。

震災の影響により会場が、秋口まで、ロイヤルパークホテルからベルサンピアみやぎ泉に変更になります。

住所：宮城県黒川郡大和町小野字前沢31-1

電話：022-346-2121

会場変更に伴い、朝食は事前申込の方になります。

ご参加の方々は、事務局にファックスかメールにて、お知らせ下さいますようお願い申し上げます。

朝食代：700円(コーヒー付)です。

皆様のご参加、心よりお待ちしております。

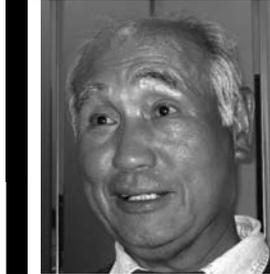
広報委員長 佐々木一聡



仙台宮城野倫理法人会



仙台宮城野 第582回 モーニングセミナー ホテルレオパレス仙台 5月13日(金)



「頑張れる事への
感謝力が奇跡を おこす」
プロゴルファー 古市 忠夫様
まず、踏み出そう 一歩

阪神淡路大震災ですべてを失うも、60歳にして難関のプロゴルフテストに合格。一週間前に被災地・七ヶ浜に入り泥かき作業等のボランティア活動に汗を流す氏が熱く語った。

想定外の支援がいまこそ必要なとき。行政として団体としてそして個人として、いま出来る一歩を勇気をもって踏みださなければならない。

「生きてるだけで 十分幸せ」

たとえ一日100円でも仲間が3,000人集まれば年間1億円超の支援金を作ることができる。

震災後わたしの価値観は180度変わった。物や地位名声を追い求める生きかたから、他人への思いやり積極性そして勇気こそ生きてゆくには大事なことだと気付いた。

心の底から感謝の心が湧き上がり、「生きてるだけで十分幸せ」と思えるにいたった。自分本位を変えたのは感謝する心そのものだった。

「奇跡をおこす方程式＝」

奇跡＝才能×努力×運と言われるが、実は方程式の3番目の乗数は「運」ではなく「感謝力」である。感謝する心こそが奇跡を起こす決め手だ。

天才やいかなる努力家にも逆転可能な奇跡パワー、それが感謝を忘れない

心である。いま生きている事に感動できる心こそが、毎日をいきいきと生き切るエネルギーをつくりだす。「お金を失うことは小さい。信頼を失うことは大きい。しかし勇気を失うことはすべてを失う」と日焼けした顔で結んだ。

仙台宮城野 第584回 モーニングセミナー ホテルレオパレス仙台 5月27日(金)

「大震災と
共助の精神」

東日本大震災復興構想会議委員
仙台大学教授 高成田 享様



この震災で多くの人びとは、お金が頼りにならないという貴重な場面に遭遇した。いくら財布にお金があっても、

頼りにならなかった「お金」

コンビニストアの棚から殆どの商品が消えた。街のスタンドにはガソリン



や灯油を買い求める列が延々と続いた。

「共助の精神」

未曾有の大震災は、一枚の毛布に共にくるまり一つの食事を皆で分けあう共助の精神を体験させてくれた。1980年代のサッチャー革命は行き過ぎたマーケット至上主義から、人間不信と貧困の格差拡大を生じさせた。

資本主義に「心」という精神面を組み込むメカニズム枠組みこそが肝心であると、この震災は改めて教えてくれたのである。

政府と民間そしてNPO等非営利団体それぞれが特徴を活かし、相互に噛み合って機能してゆくことが重要である。

「公助そして自助」

新しい公共の考え方による公助。そして共助と同時に自助も大切だ。わがままな支援頼みでない自律した自助と、共助の精神をどのように醸成するかは確かな復興から発展へとつなぐ一つの鍵である。



▲雨のなか清掃活動ありがとうございました。
写真後列左から手塚、鎌倉、小倉、益田、初参加の佐藤ご夫妻、橋 前列左から沢田、松本、岡田 (新寺緑道公園前5月21日・奉仕委員会)

(仙台宮城野倫理法人会 広報委員 櫻井光雄 rapport 201107)